

競技用シューズ・スパイク・アスリートビブスに関する連絡

2021/04/01

2020年12月1日より、下表の競技用靴に関する新たな競技規則が全面適用になり、今後公認の競技会・記録会に参加される選手の皆さんは遵守する必要があります。

特に、競技に特化していないランニングシューズ(アップシューズ)などで、トラック競技や投擲種目に出場する場合は注意が必要です。

競技規則に適合しないシューズで出場されようとした場合、失格となります！
今後は以下の点に十分ご注意ください。

- 世界陸連(WA)の承認シューズリストに載っているかどうかを確認してください。
-最新のシューズリストは[こちら](#)で確認できます(約1週間に1度更新)-
«MANUALS & GUIDELINES»World Athletics Shoe Compliance List→ENをクリック»
(こちらはWAのサイトとなり、英語のみになります)
この表に載っていないシューズでも、下表の規則の範囲内の厚みのシューズならば使用可能です。
- シューズが競技規則に適合しているか否かについて、招集所(競技者係)で検査を行います。
検査の結果「適合」→ 出場可能
「非適合」→ 出場不可能
※競技後に「非適合シューズ」の使用が判明した場合は失格となります。
※記録会においては現地で行います。
- 承認シューズリストで「NO」と表記のあるシューズはいかなる場合でも使用は認められません。
- [日本陸連のサイト](#)も併せてご参照ください。

☆靴底の厚さに関する規則(TR5.5、TR5.13.3)

種 目	靴底の最大の厚さ (TR5.5、TR5.13.3)	要 件 ・ 備 考
フィールド種目 (除く:三段跳)	20mm	全投てき種目と高さを競う跳躍種目および三段跳を除く長さを競う跳躍種目に適用。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。 競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。
クロスカントリー	25mm	
道路競技(競走、競歩)	40mm	
マウンテンレースとトレイルレース(TR57)	制限なし	

アスリートビブスのサイズについて

2021年より、アスリートビブスのサイズが横24cm×縦20cm以内から横24cm×縦16cm以内に変更となりました。

本年度はどちらの大きさでも構いませんが、これから作成される場合は、新しい大きさの横24cm×縦16cm以内で作成いただきますよう、お願いいたします。数字の大きさは縦6cm以上とします。